

科目名

# SS 英語Ⅱ <英語コミュニケーションⅡ分野>

理数科必修

2 年次・6 単位中 4 単位

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力と、事実や意見などを多様な観点から考察し論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。また、科学分野において有用な英語の語法や知識を学ぶとともに、グローバルな視点での科学分野におけるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

位置づけ 次年度の「SS 英語Ⅲ」につなげるとともに、科学分野において有用な英語の語法や知識を学び、グローバルな視点でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。

### ■使用する教材

- ・教科書：LANDMARK English Communication II
- ・副教材：英文法・語法 Vintage 4<sup>th</sup> Edition  
総合英語 be 4<sup>th</sup> Edition 必携英単語 LEAP
- ・自作プリント ほか

### ■学習する単元とおおよその時期

- ・ LANDMARK II
- Lesson1,2 【4～5月】
- Lesson3,4 【6～8月】
- Lesson5,6 【9～10月】
- Lesson7,8 【11～12月】
- Lesson9,10 【1～2月】
- Reading② 【3月】

### ■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・予習：新出単語・熟語の定義、用例の把握。
- ・授業：テキストの概要把握、詳細理解、音読、要約、意見交流
- ・復習：学習した項目の定着、活用

### ■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 学習した知識や技能に関して、ほぼ正確に用いられる。	学習した事項の概念を理解し、状況に応じて活用し、論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みをして行える。
	B 学習した知識や技能に関して、ある程度正確に用いられる。	学習した事項の概念を状況に応じて活用し、ある程度論理的に表現をすることができる。	知識、技能の獲得や、思考・判断・表現等の育みを粘り強い取り組みで行う姿勢はある。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	試験、小テスト	試験、パフォーマンス課題 (エッセイライティングなど)	授業中の参加態度

### ■ 単元試験

	内容	時期
第1回	Lesson 1, 2 / LEAP	6月
第2回	Lesson 3, 4 / LEAP	9月
第3回	Lesson 5, 6 / LEAP	10月
第4回	Lesson 7, 8 / LEAP	11月
第5回	Lesson 9, 10 / LEAP	2月